

第 8 表 都 道 府 県 別 民 有 地

本表は全国の各市町村（東京では区）が保管している土地台帳または土地補充課税台帳に登録された土地のうち、課税対象外の土地（官、公有地、公共用地、公共用道路、悪用水路、ため池、保安林、学校用地および神社・寺院などの境内地など）をのぞいた各年1月1日現在の数字である。

都 道 府 県	総 数	宅 地	田	畑	池 沼	山 林	牧 場	原 野	そ の 他
昭和 46 年	15 814 771	853 585	3 112 849	2 574 536	22 125	7 522 659	183 060	1 410 827	135 131
47	15 746 201	892 189	3 095 964	2 556 613	22 670	7 437 488	181 058	1 413 251	146 969
48	15 897 420	941 499	3 084 363	2 599 795	24 337	7 468 893	180 278	1 422 675	517 581
49	15 923 132	992 747	3 067 990	2 587 200	24 137	7 464 880	181 548	1 403 216	201 414
昭和 50 年	15 940 625	1 030 174	3 052 656	2 582 547	24 377	7 476 550	181 284	1 375 349	217 688
北海道	2 853 329	61 446	262 050	680 817	5 795	1 124 455	162 124	519 975	36 667
青森県	370 425	15 982	82 737	77 995	61	121 370	987	68 063	3 232
岩手県	718 389	17 872	86 231	83 678	103	387 125	7 732	133 631	2 017
宮城県	311 346	22 335	107 506	41 804	147	129 858	167	7 825	1 703
秋田県	340 706	14 777	120 887	29 510	165	99 783	16	74 127	1 442
山形県	346 359	14 689	102 118	40 801	110	149 525	9	37 534	1 575
福島県	578 622	23 021	110 946	96 157	1 062	289 539	1 604	51 714	4 579
茨城県	414 378	34 326	98 361	127 275	147	132 783	651	15 967	4 866
栃木県	337 435	24 834	98 997	53 571	142	141 471	487	10 798	7 134
群馬県	259 237	23 229	34 986	78 413	279	99 093	329	18 463	4 444
埼玉県	241 995	42 285	59 048	74 961	318	56 399	-	3 758	5 227
千葉県	357 287	42 588	99 536	78 743	363	112 571	1 282	14 783	7 419
東京都	112 643	48 177	3 053	18 680	63	35 114	-	3 044	4 512
神奈川県	138 620	43 562	11 845	29 215	20	42 242	2	4 520	7 213
新潟県	485 599	28 716	176 254	48 279	1 634	206 334	19	18 764	5 599
富山県	143 723	14 493	70 898	8 339	1 064	43 510	-	3 906	1 512
石川県	162 356	11 990	49 369	14 016	77	79 946	13	5 109	1 836
福井県	169 736	9 319	45 869	7 046	621	102 197	17	3 317	1 350
山梨県	128 301	8 816	17 191	30 896	11	60 785	-	9 701	901
長野県	457 865	25 181	79 733	88 151	717	197 025	1 617	58 685	6 756
岐阜県	475 793	21 891	60 319	25 904	1 076	343 422	1	14 547	8 632
静岡県	430 096	34 582	45 801	67 912	2 221	247 484	41	25 733	6 323
愛知県	283 311	54 041	77 767	52 305	1 723	83 973	5	3 909	9 589
三重県	292 031	18 769	63 200	27 886	637	171 569	12	4 704	5 255
滋賀県	176 550	13 342	62 333	7 743	146	86 425	0	3 547	3 015
京都府	164 426	15 552	34 339	11 817	117	96 492	7	3 292	2 810
大阪府	91 028	39 956	22 977	5 846	115	18 311	21	631	3 171
兵庫県	419 898	36 932	88 640	15 860	145	261 462	74	8 462	8 322
奈良県	147 064	8 546	26 011	8 666	872	99 759	0	1 509	1 701
和歌山県	241 702	7 705	23 961	17 410	67	190 371	1	1 284	904
鳥取県	143 078	6 686	31 223	16 433	17	72 812	25	15 060	822
島根県	335 182	8 588	49 533	20 137	272	248 338	58	6 614	1 641
岡山県	354 015	21 860	80 224	30 937	252	209 778	88	6 428	4 448
広島県	404 735	22 064	63 540	29 670	462	278 759	45	5 244	4 950
山口県	302 856	17 872	63 613	19 523	265	189 439	40	7 622	4 483
徳島県	189 400	8 087	26 897	20 348	273	131 402	1	571	1 823
香川県	112 999	10 323	34 315	13 172	59	52 365	-	308	2 458
愛媛県	292 089	14 280	38 278	43 764	140	191 665	6	1 844	2 111
高知県	328 559	6 231	31 533	20 313	762	264 422	54	3 152	2 092
福岡県	283 351	40 867	91 124	29 487	711	93 500	81	18 310	9 271
佐賀県	144 904	8 552	50 253	21 209	70	48 644	62	14 859	1 255
長門県	177 470	11 990	30 960	49 052	82	68 175	84	15 323	1 804
熊本県	286 874	18 371	77 979	67 851	325	93 188	1 209	26 073	1 878
大宮鹿沖	213 679	13 265	52 945	33 111	211	80 278	20	31 175	2 675
分島	228 654	13 138	44 714	48 561	190	95 439	186	23 757	2 668
児島	382 017	20 695	58 633	121 842	166	138 081	68	40 583	1 948
沖繩	110 515	8 353	3 926	47 442	102	9 874	2 039	27 127	11 653

第 2 章

気 象

第 2 章 気 象

年 間 概 況

昭和51年の大阪の年間気象は、平均気温で15.9°C（平年より0.3°C高い）、同湿度64%（平年より7%低い）、降水量1,500mm（平年より110mm多い）であった。

季節的には、気温で2月を中心に暖冬であり、梅雨期から9月にかけて低温続きで変動が大きく、夏期には雷雨が多かった。また、9月には台風17号の影響で記録的な豪雨となり、12月末には顕著な寒波がおとづれる等、年間を通じて気象変動の大きい年であった。

月 別 概 況

1月：気温変動の大きい月であった。15日ごろから24日にかけては日本海側を中心に大雪となったが、太平洋側は乾燥状態が続き、降水量は観測史上第2位の少雨を記録した。従って日照時間も長く、又強風の日も多かった。

2月：高温多雨で気象変動の大きい日が続いた。日本海や南岸を次々と低気圧が通って冬型は長続きせず、特に南岸に前線停滞することが多く、従って雨量は平年の倍に達した。春一番は28日の低気圧によってもたらされた。

3月：月の前半の気温は高めに経過したが後半は低めで曇雨天の日が多く、特に12、17、26、29日は天気を大きくくずした。又下旬ははじめは冬型気候となり大阪で俄雪が降った。

4月：気温の変動は大きく前半寒の戻りで山地は小雪となり、中旬以後は比較的高めであった。低気圧は周期的に通る15日は大きくくずれ、23、26、29日も雨だったが、とくに23日は前線の通過で雷雨となり、その前日の22日は濃霧であった。

5月：月の初めは低温で天気はぐずつき、特に1日は激しい突風と雷雨を伴った所もあった。下旬は高温で走り梅雨に入り、雨量も後半が多く19日は41mm、21日には山陰沖低気圧で60mmを記録した。

6月：梅雨入りは5日で平年より4日早く、上旬の後半と下旬の前半に雨量が多く、特に9日から11日は大雨になった。中旬は雷雨性の雨が各地で発生し、下旬に入って25日までは梅雨前線の活動が活発だったが、その後は北の高気圧におおわれ梅雨も中休みとなった。

7月：上旬の気温はかなり低温で梅雨前線は活発であり、特に7日は雷雨性の大雨となり、中旬は不活発で梅雨明けは平年より4日遅く20日となった。27、28日は雹を伴う雷雨で各地に被害が出た。台風は9号から12号まで発生したが影響はなかった。

8月：上旬を中心に低温が多く、18日までは連日のように雷雨性の降雨があり、特に3日と16日は突風を伴ったため被害が発生した。台風は13号から16号まで発生した。

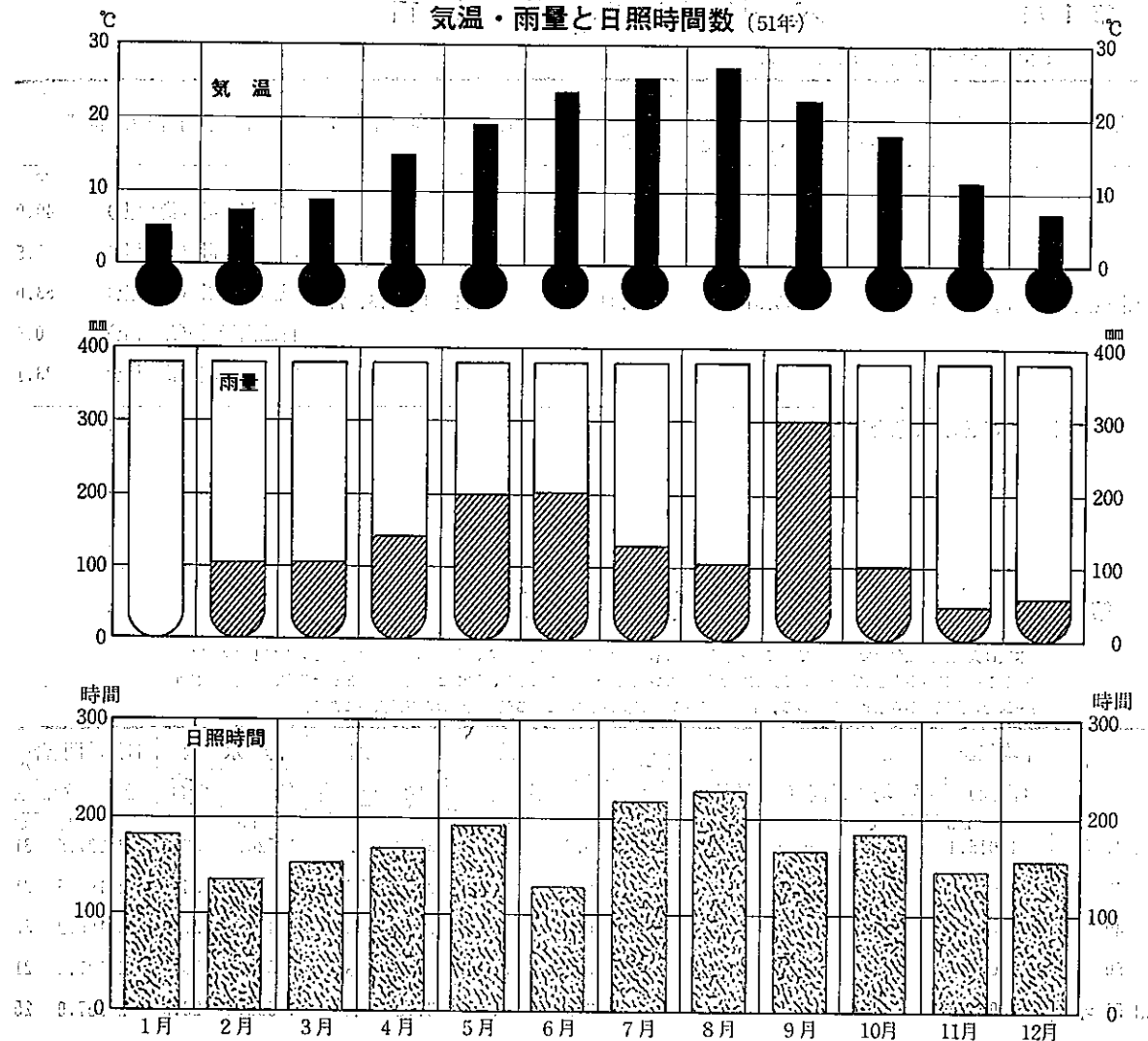
9月：低温傾向は月なかば以降更に顕著で、10日から13日にかけては台風17号が西日本を迷走したため、各地で記録的な豪雨となり大きな災害が出た。その後天気は回復したが下旬は曇雨天が続いた。月間雨量はかなり多く、特に9日には日雨量119mmを記録した。

10月：7月から続いた夏期の低温はこの月に入ってやっと平年並になり、特に中旬は平年より高かったが下旬には早くも冬型気候となって冬の訪れを感じさせた。

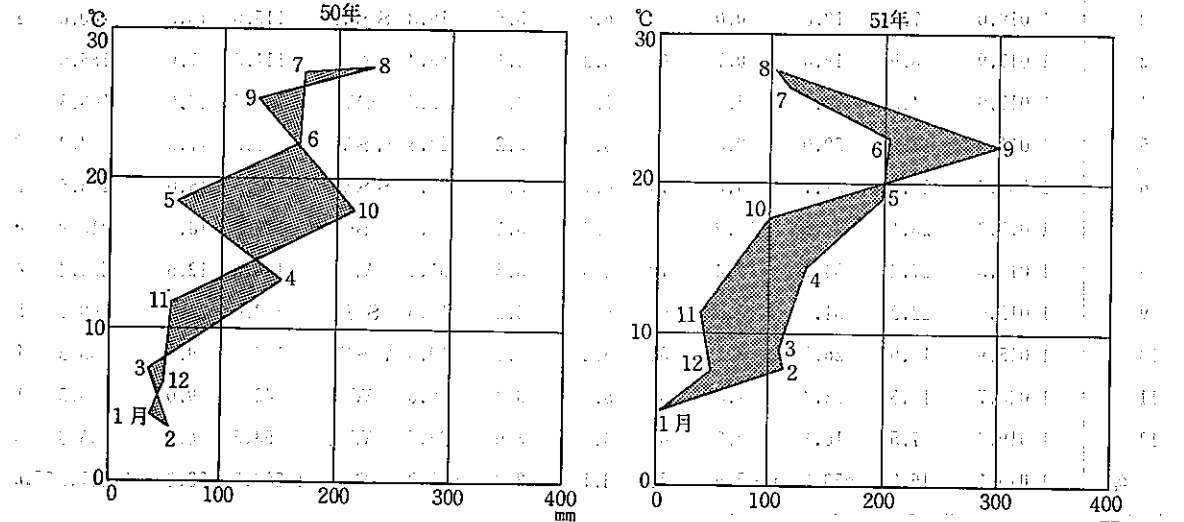
11月：中旬までは高気圧におおわれて暖かったが夜は冷えて霜や結氷を観測した。下旬は冬型となって26日には寒波第1号が西日本に南下したため初雪の所が多みられた。

12月：下旬中頃までは弱い冬型で晴れの日も多かったが26日には強い寒波が来襲した。日本海側中心には大雪と低温が年始まで続き根雪となった。今年の台風は25号まで発生した。

気温・雨量と日照時間数 (51年)



気温と雨量の相関関係 (大阪)



第 1 表 大阪管区气象台

本表は「地上気象観測原簿」によるものである。

Table with columns: 位置, 経緯度 (東経, 北緯), 海面上高, 創立年月日, 主要材器の位置. Includes data for 大阪市東区法円坂町 6-25.

資料 大阪管区气象台調査課調

第 2 表 気 象 概 況

本表は大阪管区气象台での観測概況である。平均気温は1日8回の平均値から、平均湿度は相対湿度ともよび1日4回の測定値からその日の平均値が計算される。曇量は全天曇に被われた場合を10とし、曇のない状態を0とした基準、平均風速は0時~24時の全風程から求められている。平年各欄のうち*印は過去における最高最低および最大値である。

Table with columns: 年 月, 平均気圧 (海面), 気 温 (平均, 最高値, 最低値), 平均湿度, 曇量, 風 速 (平均, 瞬間最大, 風 向), 降 水 量 (総量, 最大時量), 日照時間 (総 数), 合風発生個数. Includes monthly and annual averages.

資料 大阪管区气象台「大阪府気象年報」

第 3 表 () 天 気 の 概 況 (全)

本表は大阪管区气象台での観測結果による日数である。

Table with columns: 区 分, 昭和48年, 昭和49年, 昭和50年, 昭和51年 (総数, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月). Includes categories like 降水量, 雪日数, 暴風日数.

資料 大阪管区气象台「大阪府気象年報」

第 4 表 気象官署区内観測所の平均気温

本表は府下各観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた平均値である。

Table with columns: 観測所名, 昭和48年平均, 昭和49年平均, 昭和50年平均, 昭和51年 (平均, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月). Lists stations like 大阪, 上之郷, 岸和田, etc.

資料 大阪管区气象台「大阪府気象年報」

第 5 表 気象官署区内観測所の降水量

本表は府下各観測所において観測したものである。()内は未測分を含まない。

Table with columns: 観測所名, 昭和48年総数, 昭和49年総数, 昭和50年総数, 昭和51年 (総数, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月). Lists stations like 大阪, 上之郷, 岸和田, etc.

資料 大阪管区气象台「大阪府気象年報」

第 6 表 全国気象官署別気象概況(昭和50年)

本表の「相対湿度」は毎日3時、9時、15時、21時の4回の観測値を、「気温」はこの4回に更に6時、12時、18時、24時を加えた合計8回の観測値を算術平均したものである。「快晴日」は日平均曇量2.5未満をいい、「最大風速」は任意の10分間平均風速の最大値である。「年平均値」は昭和16~45年の平均値である。a)は昭和31~45年平均。b)は昭和23~45年平均。c)は昭和29~45年平均。d)は昭和18~45年平均。e)は昭和25~45年平均。f)は昭和17~45年平均。g)は昭和26~45年平均。

Table with columns for 気象官署, 気温 (年平均, 年間最高, 年間最低), 相対湿度 (年平均, 年間最高, 年間最低), 日照時間 (年平均, 年間), 降水量 (年平均, 年総量, 1日最大), 快晴日数, 最大風速, 最深積雪. Rows list various prefectures and cities like 北海道, 青森県, etc.

第 3 章
人 口